



京都市立病院を取り巻く医療環境について

平成22年5月

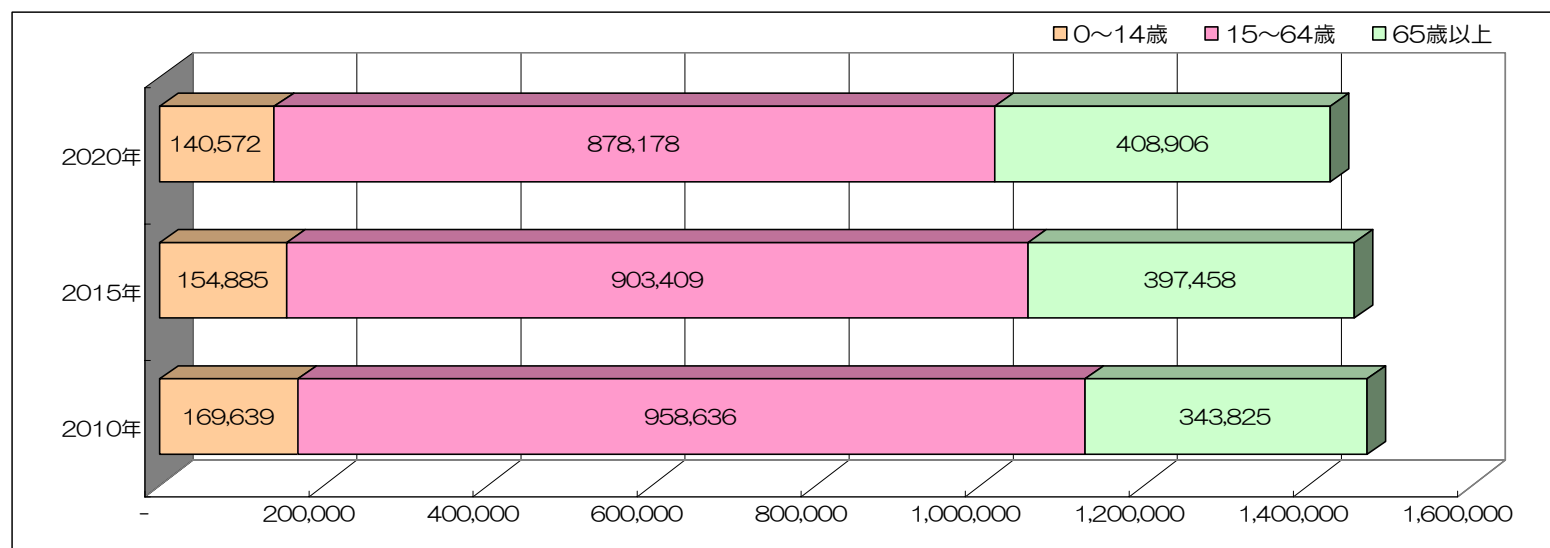
□ 1. 今後の医療需要予測

(1) 京都市の人口推計

○人口予測

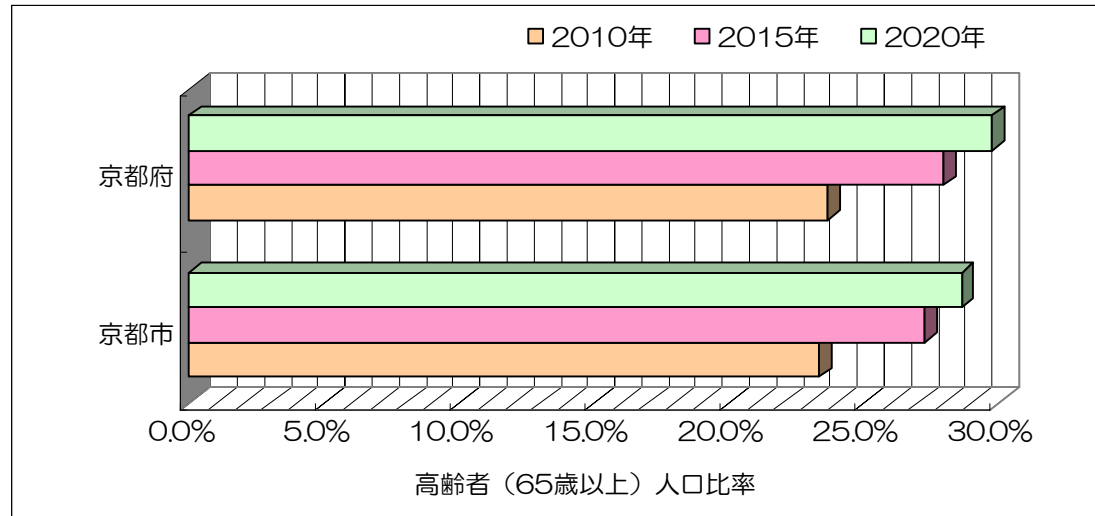
年齢区分	2010年	2015年	2020年	伸び率	構成
0～14歳	169,639	154,885	140,572	▲17%	10%
男	86,512	78,837	71,682	▲17%	
女	83,128	76,048	68,890	▲17%	
15～64歳	958,636	903,409	878,178	▲8%	62%
男	468,304	439,809	425,766	▲9%	
女	490,332	463,599	452,412	▲8%	
65歳以上	343,825	397,458	408,906	19%	29%
男	142,795	166,312	169,061	18%	
女	201,030	231,145	239,844	19%	
合計	1,472,100	1,455,751	1,427,656	▲3%	100%
男	697,611	684,959	666,510	▲4%	
女	774,490	770,793	761,146	▲2%	

- 出処『総務省 2000年・2005年 国勢調査報告』のデータを元に、コーホート法により推計
- 京都市の全人口は、10年後約3%ほど減少する見込み（約143万人）
- 65歳以上の高齢者の占める割合が増加し、3割近くにまで増加する



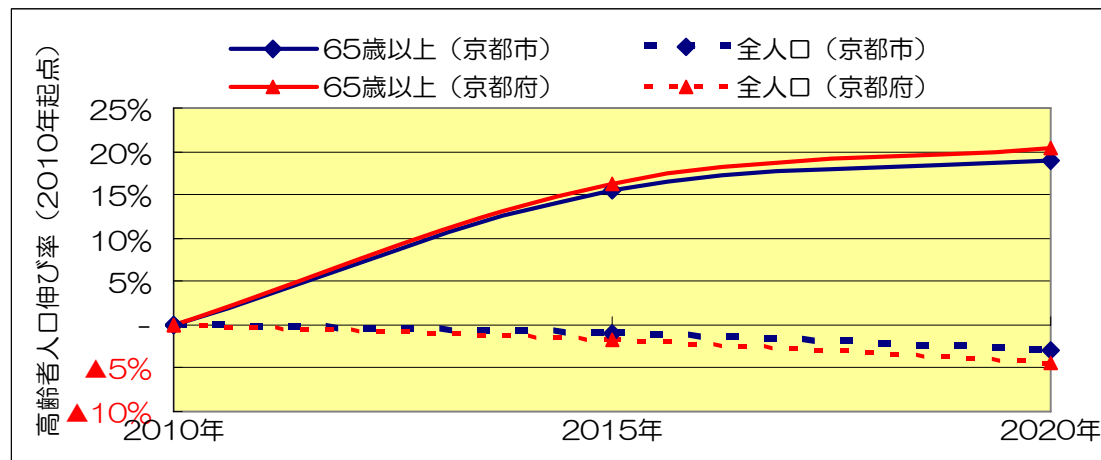
(2) 京都府全体の傾向との比較

〇65歳以上人口の比較



- 京都市における高齢者人口割合は、京都府全体と比較して現時点においては、約23%とほぼ同水準となっている。
- 10年後は、京都府全体が約30%なのに対し約29%と、約1%低くなる。
- 京都市における、全人口の2010年を起点とした減少率は京都府全体の動きよりもゆるやかであり、一方で65歳以上の高齢者人口の伸び率は約20%とほぼ同水準で推移する。

〇65歳以上人口の伸び率



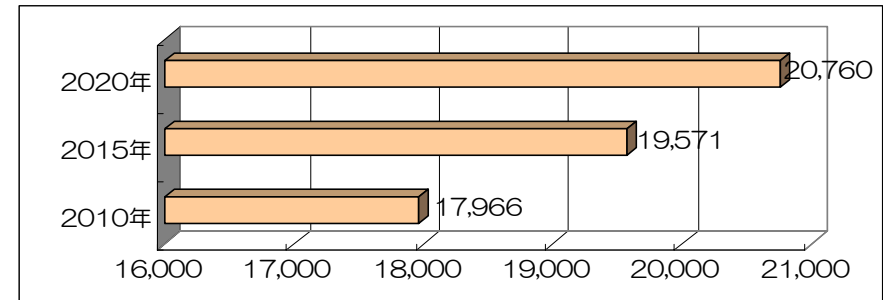
(2) 疾病分類別(※)にみた京都市内の入院患者数の状況

※ 疾病分類は、WHOによる国際疾病分類第10版（ICD10）の大分類による。

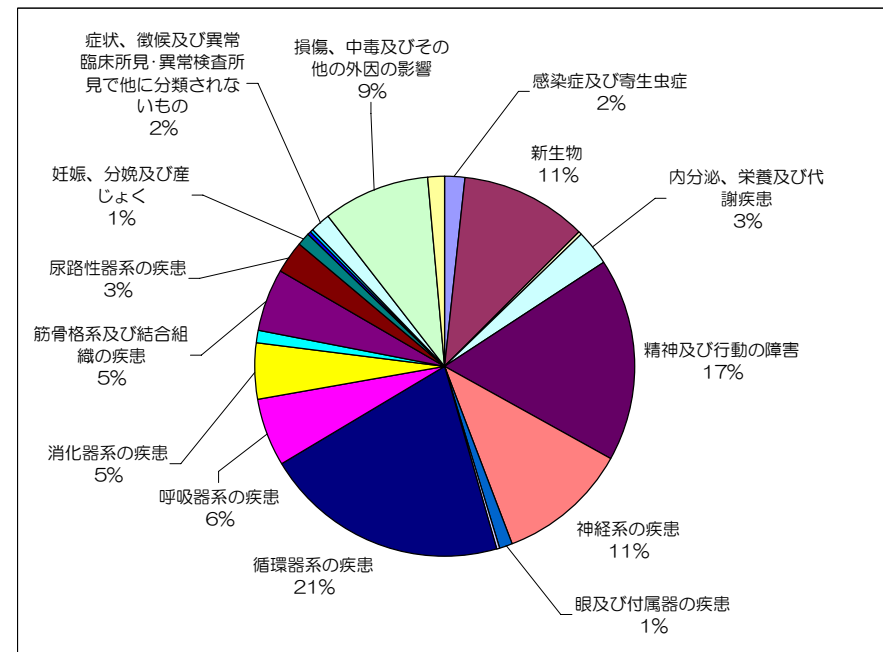
○京都市内の1日あたり患者数

	入院				
	2010年	2015年	2020年	伸び率	構成 (2020年)
感染症及び寄生虫症	290	316	331	14%	2%
新生物	2,022	2,177	2,252	11%	11%
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	68	72	76	12%	0%
内分泌、栄養及び代謝疾患	556	612	652	17%	3%
精神及び行動の障害	3,226	3,421	3,553	10%	17%
神経系の疾患	1,995	2,173	2,327	17%	11%
眼及び付属器の疾患	177	193	201	14%	1%
耳及び乳様突起の疾患	53	57	56	6%	0%
循環器系の疾患	3,532	3,985	4,353	23%	21%
呼吸器系の疾患	989	1,098	1,188	20%	6%
消化器系の疾患	882	949	996	13%	5%
皮膚及び皮下組織の疾患	186	208	228	23%	1%
筋骨格系及び結合組織の疾患	913	1,000	1,062	16%	5%
尿路器系の疾患	507	554	587	16%	3%
妊娠、分娩及び産じょく	283	265	244	▲14%	1%
周産期に発生した病態	50	46	42	▲16%	0%
先天奇形、変形及び染色体異常	52	50	49	▲6%	0%
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	301	330	352	17%	2%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,641	1,803	1,933	18%	9%
健康状態に影響を及ぼす要因及び保険サービスの利用	243	262	278	14%	1%
合計	17,966	19,571	20,760	16%	100%

○京都市内の患者数の推計



○2020年時点における患者構成



- 出処『総務省 2005年 国勢調査報告ならびに厚生労働省 2005年 患者調査』より1日あたりの患者数を推計
- 京都市における入院患者数は、現時点において、1日あたり約18,000名と予想され、10年後には、20,000名以上（16%増加）まで増加すると予想される。
- 当該地域においては、循環器系の疾患（21%）、精神系の疾患（17%）、神経系疾患・新生物疾患（11%）が上位を占める。

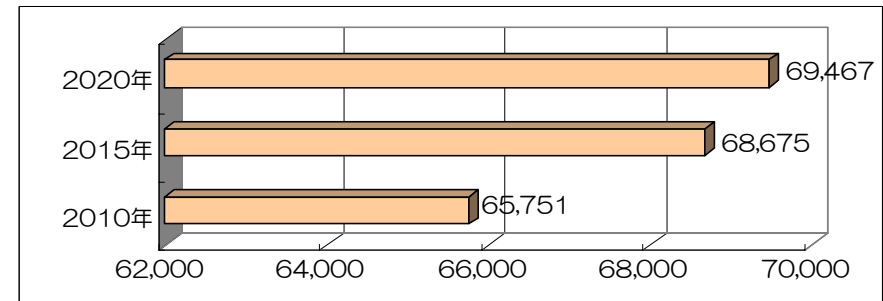
(3) 疾病分類別(※)にみた京都市内の外来患者数の状況

※ 疾病分類は、WHOによる国際疾病分類第10版（ICD10）の大分類による。

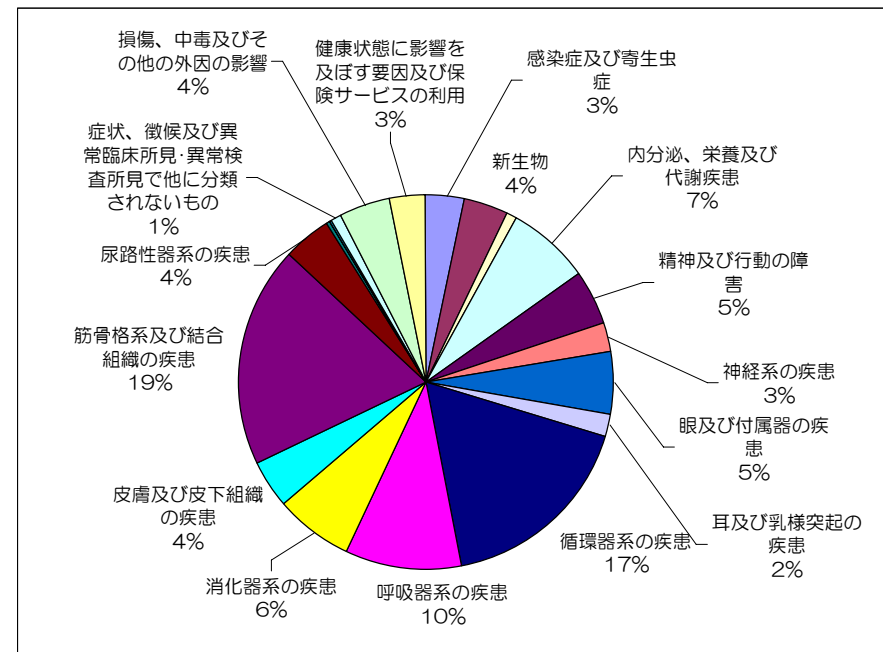
○京都市内の1日あたり患者数

	外来				
	2010年	2015年	2020年	伸び率	構成 (2020年)
感染症及び寄生虫症	2,191	2,243	2,233	2%	3%
新生物	2,622	2,775	2,829	8%	4%
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	442	454	459	4%	1%
内分泌、栄養及び代謝疾患	4,811	5,066	5,155	7%	7%
精神及び行動の障害	3,216	3,236	3,180	▲1%	5%
神経系の疾患	1,668	1,745	1,780	7%	3%
眼及び付属器の疾患	3,500	3,680	3,719	6%	5%
耳及び乳様突起の疾患	1,250	1,270	1,252	0%	2%
循環器系の疾患	10,488	11,443	11,960	14%	17%
呼吸器系の疾患	7,567	7,383	7,086	▲6%	10%
消化器系の疾患	4,114	4,370	4,486	9%	6%
皮膚及び皮下組織の疾患	2,986	2,995	2,956	▲1%	4%
筋骨格系及び結合組織の疾患	11,675	12,749	13,219	13%	19%
尿路器系の疾患	2,822	2,908	2,923	4%	4%
妊娠、分娩及び産じょく	271	253	235	▲13%	0%
周産期に発生した病態	-	-	-	-	-
先天奇形、変形及び染色体異常	158	152	145	▲8%	0%
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	626	640	652	4%	1%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	3,068	3,082	3,053	▲0%	4%
健康状態に影響を及ぼす要因及び保険サービスの利用	2,276	2,231	2,145	▲6%	3%
合計	65,751	68,675	69,467	6%	100%

○京都市内の患者数の推計



○2020年時点における患者構成



- 京都市における外来患者数は、現時点において、1日あたり約66,000名と予想され、10年後には、69,000名以上（6%増加）まで増加すると予想される。
- 当該地域においては、筋骨格系疾患（19%）、循環器系の疾患（10%）、呼吸器系の疾患（10%）が上位を占める。

(4) WHOによる国際疾病分類第10版（ICD10）の中分類別にみた患者数の状況

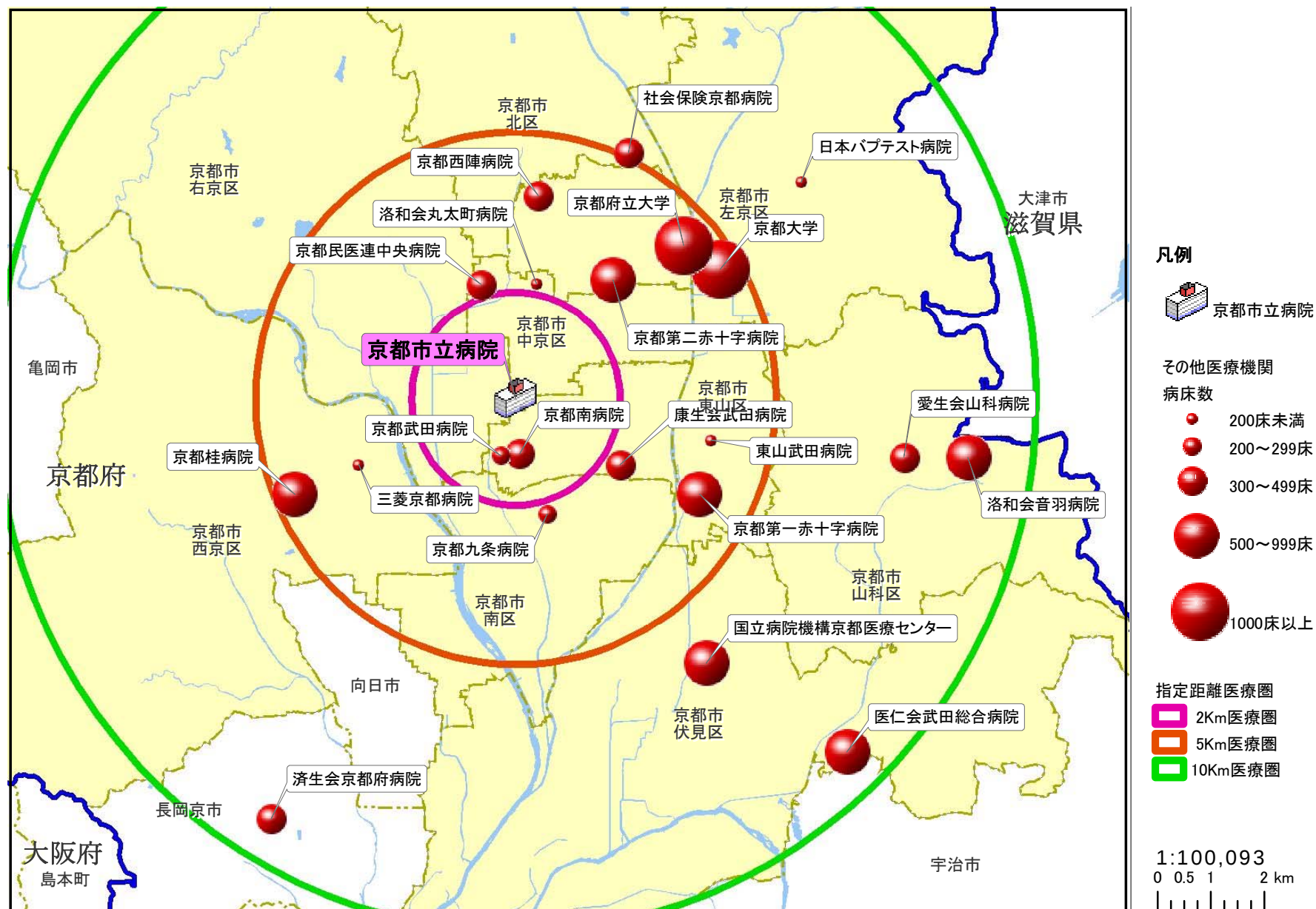
	入院					外来				
	2010年	2015年	2020年	伸び率	構成 (2020年)	2010年	2015年	2020年	伸び率	構成 (2020年)
感染症及び寄生虫症	290	316	331	14%	2%	2,191	2,243	2,233	2%	3%
腸管感染症	53	57	59	11%	0%	350	338	324	▲7%	0%
結核	66	72	76	15%	0%	28	29	30	7%	0%
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	19	21	23	21%	0%	300	299	293	▲2%	0%
真菌症	6	7	7	17%	0%	536	548	549	2%	1%
その他の感染症及び寄生虫症	146	159	166	14%	1%	977	1,029	1,037	6%	1%
新生物	2,022	2,177	2,252	11%	11%	2,622	2,775	2,829	8%	4%
胃の悪性新生物	229	251	263	15%	1%	265	289	301	14%	0%
結腸及び直腸の悪性新生物	233	253	264	13%	1%	322	348	363	13%	1%
気管、気管支及び肺の悪性新生物	265	290	301	14%	1%	172	185	190	10%	0%
その他の悪性新生物	1,033	1,104	1,141	10%	5%	1,158	1,236	1,267	9%	2%
良性新生物及びその他の新生物	262	279	283	8%	1%	705	717	708	0%	1%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	68	72	76	12%	0%	442	454	459	4%	1%
貧血	39	43	46	18%	0%	359	371	376	5%	1%
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	29	29	30	3%	0%	83	83	83	-	0%
内分泌、栄養及び代謝疾患	556	612	652	17%	3%	4,811	5,066	5,155	7%	7%
甲状腺障害	18	20	21	17%	0%	372	388	396	6%	1%
糖尿病	388	426	455	17%	2%	2,255	2,393	2,443	8%	4%
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	150	166	176	17%	1%	2,184	2,285	2,316	6%	3%
精神及び行動の障害	3,226	3,421	3,553	10%	17%	3,216	3,236	3,180	▲1%	5%
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害	1,693	1,731	1,734	2%	8%	808	792	765	▲5%	1%
気分[感情]障害（躁うつ病を含む）	274	286	291	6%	1%	1,212	1,229	1,199	▲1%	2%
神経性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	54	56	57	6%	0%	817	817	800	▲2%	1%
その他の精神及び行動障害	1,205	1,348	1,471	22%	7%	379	398	416	10%	1%
神経系の疾患	1,995	2,173	2,327	17%	11%	1,668	1,745	1,780	7%	3%

	入院					外来				
	2010年	2015年	2020年	伸び率	構成 (2020年)	2010年	2015年	2020年	伸び率	構成 (2020年)
眼及び付属器の疾患	177	193	201	14%	1%	3,500	3,680	3,719	6%	5%
白内障	114	127	134	18%	1%	818	922	965	18%	1%
その他の眼及び付属器の疾患	63	66	67	6%	0%	2,682	2,758	2,754	3%	4%
耳及び乳様突起の疾患	53	57	56	6%	0%	1,250	1,270	1,252	0%	2%
外耳疾患	-	-	-	-	-	254	252	248	▲2%	0%
中耳炎	9	10	9	-	0%	453	446	433	▲4%	1%
その他の中耳及び乳様突起の疾患	8	7	7	▲13%	0%	27	29	29	7%	0%
内耳疾患	21	24	25	19%	0%	256	270	268	5%	0%
その他の耳疾患	15	16	15	-	0%	260	273	274	5%	0%
循環器系の疾患	3,532	3,985	4,353	23%	21%	10,488	11,443	11,960	14%	17%
高血圧性疾患	93	107	118	27%	1%	6,795	7,409	7,727	14%	11%
虚血性心疾患	228	253	268	18%	1%	1,055	1,168	1,238	17%	2%
その他の心疾患	596	675	747	25%	4%	862	940	993	15%	1%
脳梗塞	1,675	1,913	2,113	26%	10%	699	783	834	19%	1%
その他の脳血管疾患	791	874	935	18%	5%	296	313	321	8%	0%
その他の循環器系の疾患	149	163	172	15%	1%	781	830	847	8%	1%
呼吸器系の疾患	989	1,098	1,188	20%	6%	7,567	7,383	7,086	▲6%	10%
急性上気道感染症	24	24	24	-	0%	3,396	3,246	3,059	▲10%	4%
肺炎	466	524	574	23%	3%	89	93	93	4%	0%
急性気管支炎及び急性細気管支炎	29	30	32	10%	0%	1,034	996	948	▲8%	1%
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	95	108	118	24%	1%	435	455	464	7%	1%
喘息	84	87	88	5%	0%	1,142	1,118	1,072	▲6%	2%
その他の呼吸器系の疾患	291	325	352	21%	2%	1,471	1,475	1,450	▲1%	2%
消化器系の疾患	882	949	996	13%	5%	4,114	4,370	4,486	9%	6%
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	89	96	102	15%	0%	655	688	700	7%	1%
胃炎及び十二指腸炎	17	19	20	18%	0%	842	893	915	9%	1%
肝疾患	153	163	170	11%	1%	620	680	714	15%	1%
その他の消化器系の疾患	623	671	704	13%	3%	1,997	2,109	2,157	8%	3%

	入院					外来				
	2010年	2015年	2020年	伸び率	構成 (2020年)	2010年	2015年	2020年	伸び率	構成 (2020年)
皮膚及び皮下組織の疾患	186	208	228	23%	1%	2,986	2,995	2,956	▲1%	4%
筋骨格系及び結合組織の疾患	913	1,000	1,062	16%	5%	11,675	12,749	13,219	13%	19%
炎症性多発性関節障害	118	130	138	17%	1%	724	766	795	10%	1%
脊柱障害	377	410	435	15%	2%	6,312	6,883	7,086	12%	10%
骨の密度及び構造の障害	30	34	38	27%	0%	1,013	1,145	1,221	21%	2%
その他の筋骨格系及び結合組織の障害	388	426	451	16%	2%	3,626	3,955	4,117	14%	6%
尿路性器系の疾患	507	554	587	16%	3%	2,822	2,908	2,923	4%	4%
糸球体疾患、腎尿管間疾患及び腎不全	329	360	383	16%	2%	826	869	889	8%	1%
乳房及び女性性器の疾患	28	29	28	-	0%	974	946	913	▲6%	1%
その他の尿路性器系の疾患	150	165	176	17%	1%	1,022	1,093	1,121	10%	2%
妊娠、分娩及び産じょく	283	265	244	▲14%	1%	271	253	235	▲13%	0%
流産	9	9	8	▲11%	0%	28	26	25	▲11%	0%
妊娠中毒症	8	7	7	▲13%	0%	5	5	5	-	0%
単胎自然分娩	100	93	85	▲15%	0%	19	18	17	▲11%	0%
その他の妊娠、分娩及び産じょく	166	156	144	▲13%	1%	219	204	188	▲14%	0%
周産期に発生した病態	50	46	42	▲16%	0%	-	-	-	-	-
先天奇形、変形及び染色体異常	52	50	49	▲6%	0%	158	152	145	▲8%	0%
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	301	330	352	17%	2%	626	640	652	4%	1%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,641	1,803	1,933	18%	9%	3,068	3,082	3,053	▲0%	4%
骨折	1,142	1,272	1,384	21%	7%	873	902	908	4%	1%
その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	499	531	549	10%	3%	2,195	2,180	2,145	▲2%	3%
健康状態に影響を及ぼす要因及び保険サービスの利用	243	262	278	14%	1%	2,276	2,231	2,145	▲6%	3%
正常妊娠・産じょくの管理	85	83	79	▲7%	0%	479	444	407	▲15%	1%
その他の保健サービス	158	179	199	26%	1%	1,797	1,787	1,738	▲3%	3%
合計	17,966	19,571	20,760	16%	100%	65,751	68,675	69,467	6%	100%

□ 2. 近隣の主要施設の状況

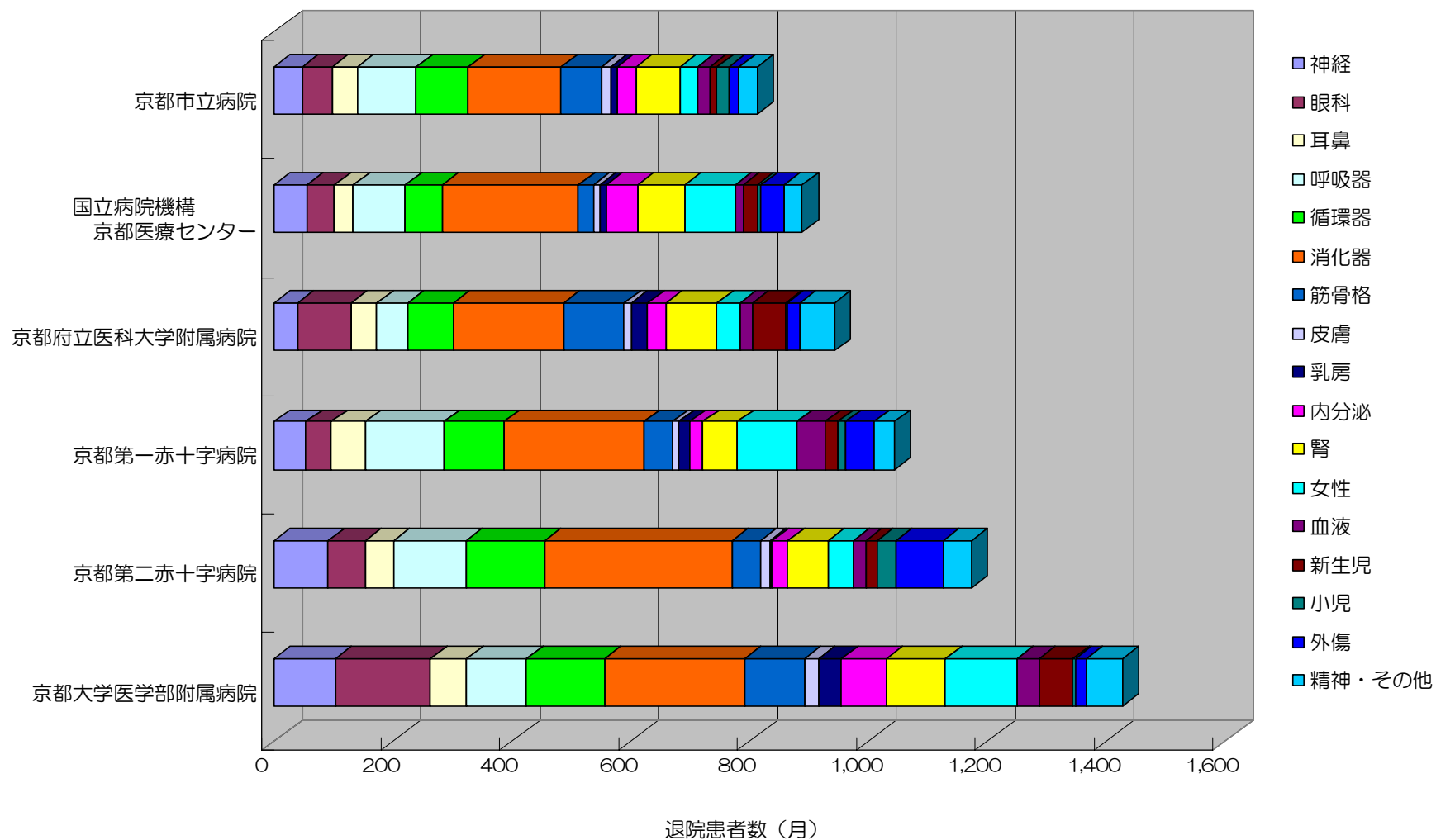
(1) 近隣の主要施設の情報



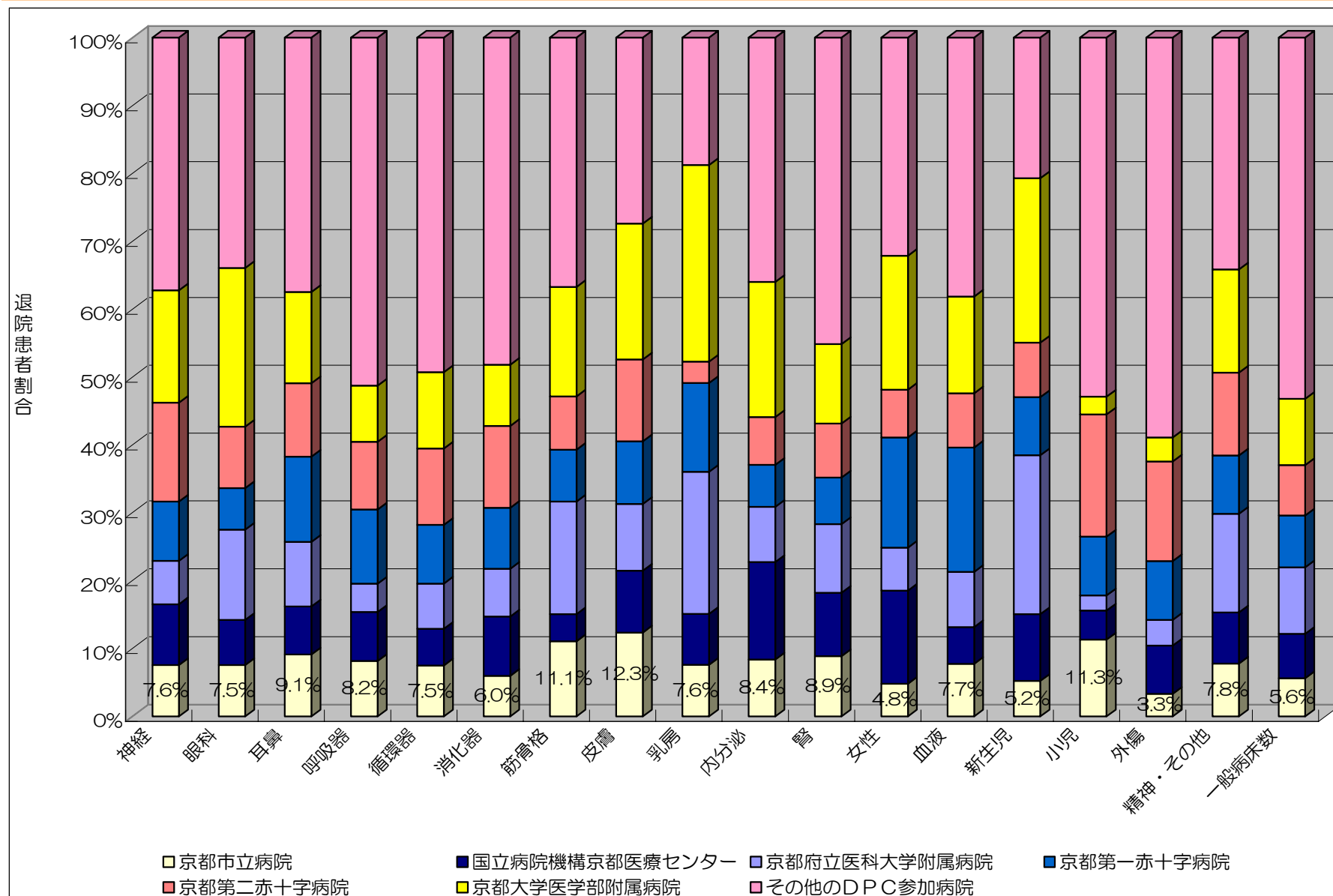
(2) 京都市内の主なDPC（※）参加病院のMDC（※）別患者構成

※ DPCとは、入院患者の病気や症状と治療行為を組み合わせた分類によって、包括的に診療報酬を算定する制度。

※ MDCとは、DPCにおいて用いられる主要診断群の分類。



(3) MDC区分ごとの京都乙訓医療圏DPC参加病院の構成比率



DPC参加医療機関(京都・乙訓医療圏)の主な医療機器整備状況

機器種別	CT	MRI	アンギオ (フラットパネル)	リニアック	PET(PET・CT)
調査時点 病院名	平成21年8月 (市立病院は 22年4月現在)	平成21年4月	平成21年9月 (市立病院は 22年4月現在)	平成21年10月	平成22年1月
京都市立病院	64列×1台, 16列 ×1台 (64列は平成21 年12月整備)	1.5T×2台	1台 (平成22年1月整備)	1台(IMRT対応)	新棟整備時整備予定
京都大学医学部附属病院	64列×3台, 16列, 8列, 4列各1台	3.0T×3台, 1.5T×3台	19台	5台(うち4台IMRT対応)	2台
京都府立医科大学附属病院	64列×1台, 16列 ×1台, 4列×2台	1.5T×2台	4台	1台(IMRT対応)	1台
京都第一赤十字病院	32列×1台, 8列×1台	1.5T×2台	3台	1台	
京都第二赤十字病院	64列×1台, 16列 ×1台, 2列×1台	1.5T×2台	5台	1台	
国立病院機構京都医療センター	16列×1台, 4列×1台	1.5T×2台	1台	1台	
A病院	64列×1台, 4列×1台	1.5T×2台	1台	1台	
B病院	64列×1台, 2列×1台	1.5T×2台	4台		
C病院	64列×1台, 2列×1台	1.5T×2台	1台		
D病院	4列×1台	1.5T×1台		1台	
E病院	64列×1台	1.5T×1台	1台		
F病院	64列×1台	1.5T×1台	1台		1台
G病院	16列×1台, 4列×1台	1.5T×1台	1台		
H病院	64列×1台	1.5T×1台	5台		
I病院	4列×1台	1.5T×1台			
J病院	64列×1台	1.0T×1台	2台		
K病院	4列×1台				
L病院	16列×1台	1.5T×1台	2台		
M病院	64列×1台, 4列×1台	1.5T×1台	2台	1台(IMRT対応)	1台
N病院	4列×1台	1.5T×1台	1台		
O病院	6列×1台	1.5T×1台	1台		
P病院	16列×1台	1.5T×1台	2台		

(出典:月刊新医療)

2009年6月号, 11月号, 12月号, 2010年3月号

主な医療機器の概要説明資料

機器略称	機器名称	概要説明
CT	全身用コンピュータ断層撮影装置	エックス線を用いて画像を撮影する検査機器で、がんや脳血管疾患、心疾患の早期発見に有効。 エックス線の検出器の数(列数により表示する)により、1回のエックス線照射によって撮影できる画像の範囲が異なり、検出器の数が多いほど、より広い範囲の撮影ができ、高精度の検査が可能となるうえ、検査時間も短縮される。
MRI	磁気共鳴断層撮像装置	強力な磁石と電磁波を用いて画像を撮影する検査機器で、がんや脳血管疾患、心疾患の早期発見に有効。 磁石の強度(単位:T(テスラ))が強くなる(Tの数値が大きくなる)ほど、画質が良くなる。
アンギオ(フラットパネル)	血管造影エックス線撮影装置	血管にカテーテルと呼ばれる細い管を通し、エックス線により血管の病変の画像撮影や治療を行う機器(市立病院は、フラットパネル1台と他方式のもの1台の合計2台を導入している。) フラットパネルは、デジタル方式の平面検出器を備えており、大きな視野を持つため、一度に広い範囲が撮影できるうえ、撮影装置を回転させることによりCTのような画像も撮影できるため、精度の高い血管内治療ができる。
リニアック	放射線治療装置	エックス線や電子線といった放射線を体の外から照射することにより、がんを治療する機器で、主に肺がん、乳がん、前立腺がん、子宮頸がんなどの治療に用いられる。 IMRT対応とは強度変調放射線治療と呼ばれるがんの形状に合わせて放射線の照射範囲をコンピュータ制御することにより、精度の高い治療を行うことのできる機能を備えたもの。
PET(PET・CT)	陽電子放射断層撮影装置	陽電子という放射線を放出する放射性同位元素を含んでいる薬を用いて、特定の臓器や病変のある部位を見つけるための検査及び診断を行うための機器。 PET・CTはPETとCTを組み合わせることでより精度の高い検査を行う機能を備えたもので、市立病院ではPET・CTを新棟整備時に導入する予定。